

# IIIXIL FamiLock

## ワイヤレス屋内ボタン 取付け・取扱い説明書



- この説明書は、必ずワイヤレス屋内ボタンの登録・使用される方にお渡してください。
- ドア本体の種類によって、ハンドルやサムターンなどの形状が絵と異なる場合がありますが、手順・要領は同じです。

### ■取扱いされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠ 警告** …取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**お願い** …特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

### ⚠ 警告

- 屋内ボタンや小型の電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。
- 医療用ペースメーカーをお使いの方が本製品をマグネットを使用して設置される場合は、メーカーの取扱説明書と、医師の指示に従ってお使いください。本製品に同梱されているマグネットは、医療用ペースメーカーに影響をおよぼすおそれがあります。

### お願い

※本製品による解錠操作は自動施錠の操作対象となるため、自動施錠設定を「ON」にしている場合は、必ずカギを携帯した状態で外出をお願いいたします。本製品による解錠操作後にカギを携帯していない状態で外出した場合、外に締め出されるおそれがあります。

※本製品をご利用になる場合にはアプリ「My Entrance」のバージョンと玄関ドアのファームウェアは下記のバージョン以上をご使用願います。下記のバージョン以上でない場合は玄関ドアへの登録、アプリ上での表示が正しく行われません。

- ・My Entranceアプリ：Ver.1.2.0以上
- ・玄関ドアのファームウェア：Ver.2.00以上

各バージョンの  
確認方法はこちら▶



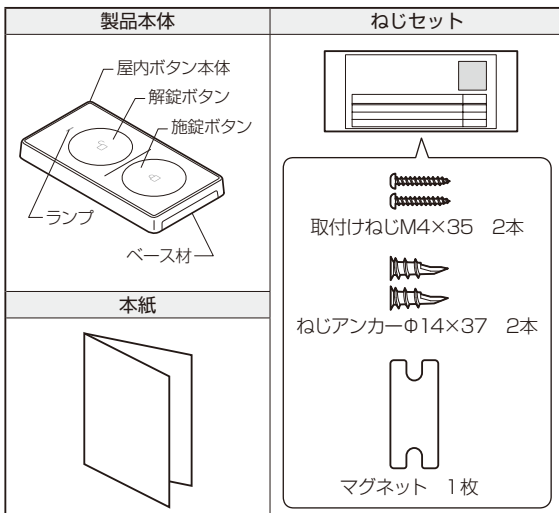
※ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店さま・販売店さままたは当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

※製品の設置(壁面への取付け時)や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

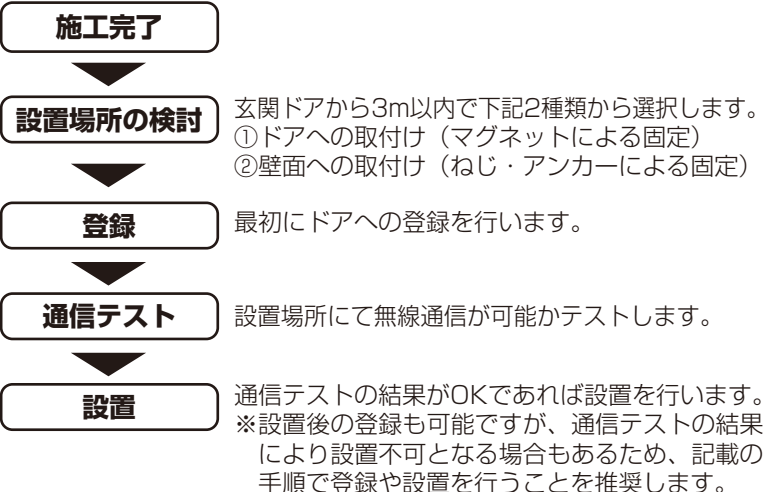
### ■使用上の注意事項

- 本製品の盗難について、弊社は責任を負いかねます。
- 本製品を設置する際は、次のような設置場所は避けてください。
  - ・ガラス窓から近い場所（ガラスを破られ、施解錠ボタンから解錠されるおそれがあります。）
  - ・小さなお子さまの手の届く範囲（意図しない施解錠操作が行われるおそれがあります。）

### ■梱包内容



### ■登録～設置までの流れ

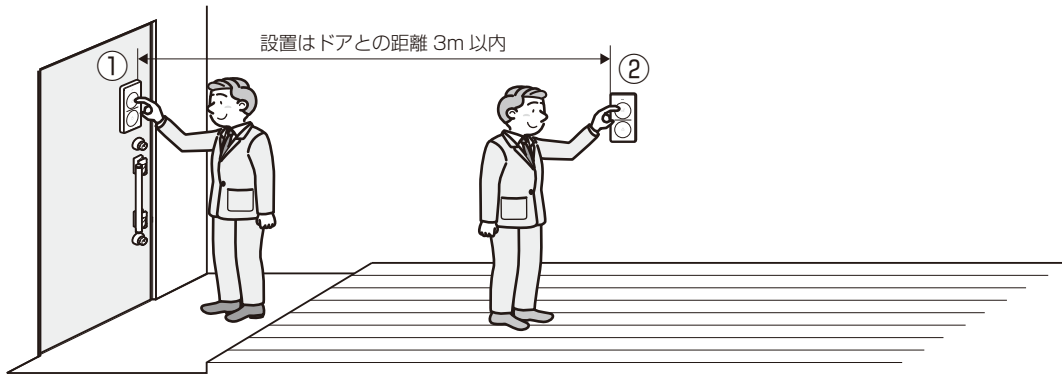


## ■設置場所の検討

本製品は下記2種類の設置方法があります。設置方法により製品の固定方法が異なりますので、事前に設置場所をご検討のうえで作業を行ってください。

### 【設置場所のパターン】

- ①ドアへの取付け（マグネットによる固定）      ②壁面への取付け（ねじ・アンカーによる固定）



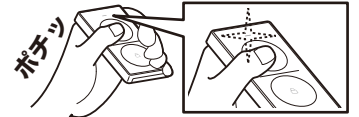
次の条件下では屋内ボタンが作動しない場合がありますのでご注意ください。

- ・屋内ボタンの設置位置が玄関ドアから 3m 以上の距離にある場合
- ・金属や RC 壁、人体、飲み物、電子機器端末など電波が通りにくいものが屋内ボタンとドアの間にある場合
- ・玄関ドアや屋内ボタンの近くに電子レンジなどの電波ノイズを出す機器がある場合
- ・無線通信式 (2.4GHz 帯) の電化製品が複数ある場合

## ■登録の前に

登録したい屋内ボタンを用意します。  
※ 1つのドアにつき 1台の屋内ボタンが登録可能です。  
※ 屋内ボタンを登録することによって他の登録キーの情報は消去されません。

屋内ボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。  
※ OFFの場合は、屋内ボタンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



2つのボタン同時3秒押しで屋内ボタンの電源を ON/OFF できます。

- ※ 電源をOFFにすると屋内ボタンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源を OFF にしてください。
- ※ 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。



◀ 登録・通信テスト・操作手順については次ページ以降に記載しておりますが、より分かりやすい参考動画もありますので、左記のQRコードよりご確認ください。

## 登録手順

室外側

①フタのねじをゆるめます。手回しドライバーをご利用ください。約10回まわします。

フタを外します。

登録ボタンを1秒押し離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

登録ボタン

ポチッ

ピー

②屋内ボタンのボタンを押し、登録します。

ピー<sup>\*1</sup>

③約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。

\*2

ピー

ピッ

ピッ

\*2)登録済みのスマートフォンやリモコン、カードキーの個数分鳴ります。(屋内ボタン分は含みません。)

④フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

断面図

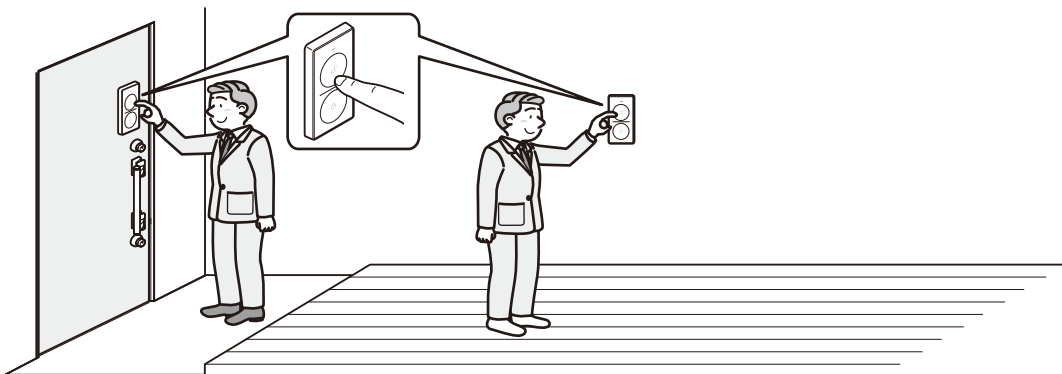
\*1)登録されると『ピッ音』がなります。  
 ※最大登録個数は1個です。  
 ※本製品を登録してもリモコンやその他のカギの登録情報は削除されません。

## 通信テスト

本製品は通信の安定性をはかるため、通信強度を測るテストを実施することができます。必ず製品の設置前に通信テストを実施し、OKとなる場所にて設置・ご使用をお願いいたします。

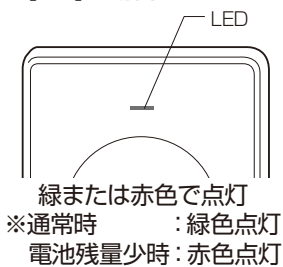
### 【通信テストの実施方法】

①製品をドアに登録後、解錠・施錠どちらかのボタンを5秒以上押し下します。



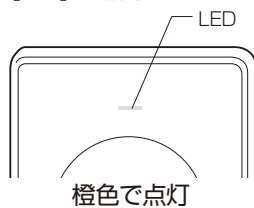
②製品上部のLEDの色味によってテストの結果が分かります。

#### 【OK】の場合



通信テストを実施した位置のまま次ページを参考に設置を実施してください。

#### 【NG】の場合



P.2の「次の条件下では屋内ボタンが作動がしない場合がありますのでご注意ください。」をご確認のうえ、該当項目がある場合は設置位置を変更する等の対応をお願いいたします。

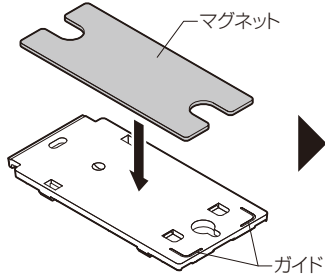
## ■設置

### 【ドアへの取付けの場合】

製品背面のガイドに合わせてマグネットを張付けます。

製品背面のガイドに合わせてマグネットを張付け、ドア室内側の任意の場所に付けてください。

#### マグネット張付け位置



#### お願い

マグネットを製品に張付ける際は下記事項をお守りください。

- 被着体表面の油分・水分・ゴミなどを十分にふき取ってから張付けてください。
- テープ本来の粘着効果が出るまで、少し時間がかかります。張付け後、数時間は製品に大きな力をかけないようにしてください。

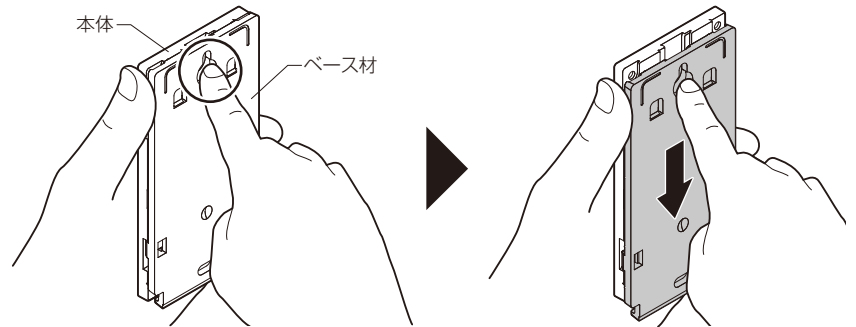
### 【壁面への取付けの場合】

#### お願い

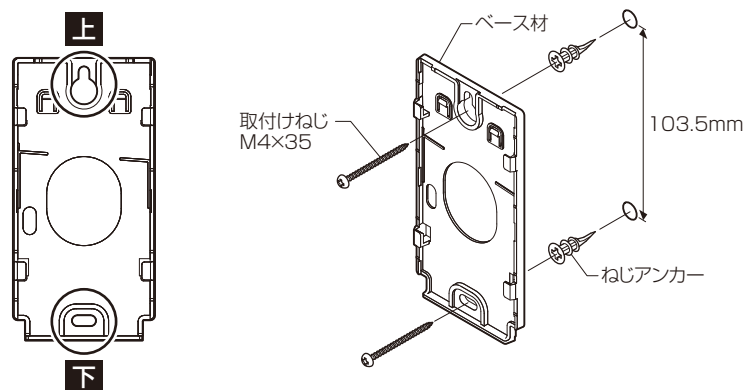
本製品を壁面へねじ固定する際は下記事項をお守りください。

- 事前にご購入の工務店さまに壁面内の配線をご確認の上で、固定をお願いいたします。未確認で実施の場合は、壁面内の配線を傷つけることがあります。
- 取付け部に間柱や胴縁が入っている場合、アンカーは不要で取付けねじのみで取付けることが可能です。

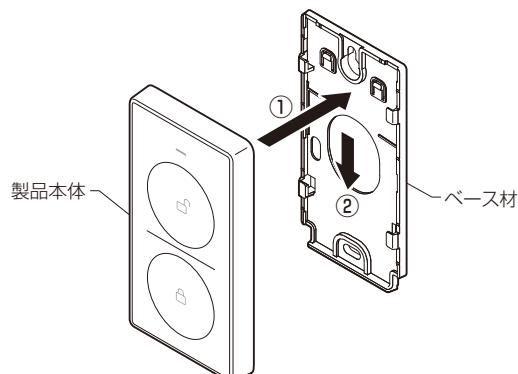
①製品背面上部の穴に指をかけ下にスライドさせることで、本体とベース材を分離させます。



②分離させたベース材を壁に取付けます。  
※ベース材のねじ取付け穴に合わせて壁に目印を付けてください。  
※ベース材の向きに注意してください。逆に付けると屋内ボタンが取付けられません。



③製品本体をベース材に取付けます。  
※矢印①、矢印②の順でカチッと音がするまで下に差込んでください。



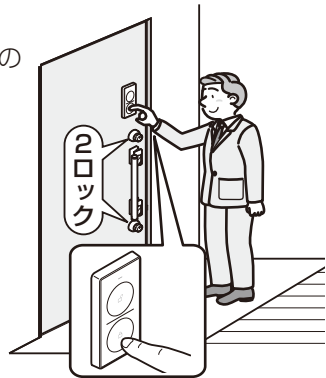
## ■操作方法

屋内ボタンのボタン操作により施錠解錠操作が可能です。  
ボタンを押した際にランプが緑色に点灯します。(施錠状態はランプへ反映されません)

### 【施錠する場合】

屋内ボタンの「施錠マーク」のボタンを押します。

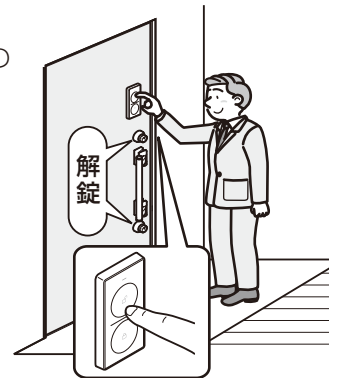
- ▶ 2つのカギが施錠します。



### 【解錠する場合】

屋内ボタンの「解錠マーク」のボタンを押します。

- ▶ 2つのカギが解錠します。

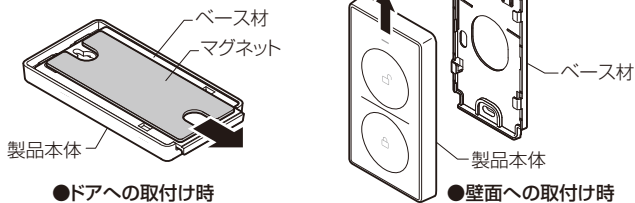


### ■お知らせ

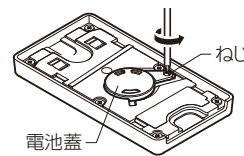
- 本製品はBluetooth®を用いてドア本体と通信しています。屋内ボタンはボタンを押してから接続を開始するためスマートフォンに比べ施錠動作が1秒遅くなりますが故障ではありません。
- ボタン操作後に電波環境に合わせて電波感度の調整を実施する場合があります。ボタン操作から約6秒後にLED点灯があった場合は点灯色に応じて下記の対応をお願いします。
  - ・緑 / 赤色：感度調整を実施したため、施錠解錠操作をする場合はもう一度ボタン操作をお願いします。
  - ・橙色：電波環境に異常があります。ドアとの間に電波を遮蔽するようなものがないかご確認ください。

## ■電池交換方法

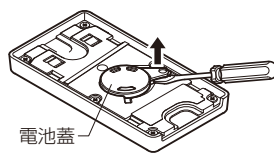
- ①製品本体からベース材をスライドさせて外します。  
壁付け設置の場合は製品本体を上へスライドして取外します。



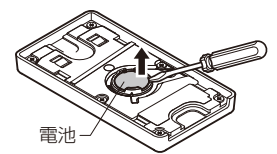
- ②電池蓋のねじを外します。



- ③マイナスドライバーをねじの根元に差し込み電池蓋を外します。

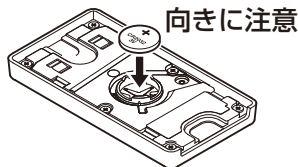


- ④マイナスドライバーで古い電池を取出します。

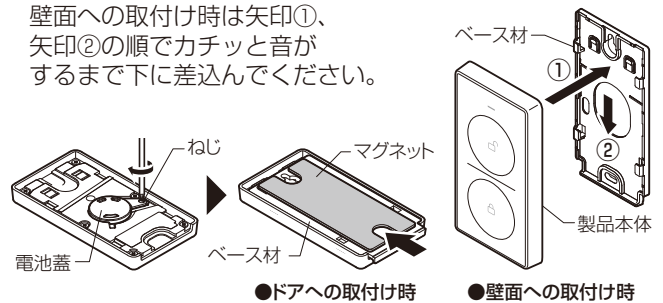


- ⑤新しい電池を入れます。

■使用電池  
コイン型 リチウム電池  
CR2032  
1個



- ⑥電池蓋とねじを取付け後、ベース材を取付けます。  
壁面への取付け時は矢印①、矢印②の順でカチッと音がするまで下に差込んでください。



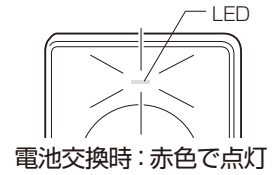
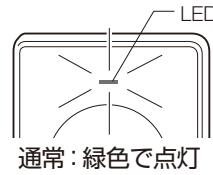
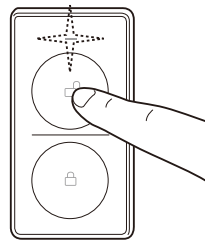
### ■電池交換時のお願い

- ・屋内ボタンの内部や電池に水や汚れを付着させないでください。動作不良の原因になります。
- ・電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。
- ・屋内ボタンの電池は『CR2032』を使用してください。これ以外の種類を使用すると接触不良が発生するなどにより正常に作動しません。
- ・電池の向きを間違えると、発熱や故障の原因となりますのでご注意ください。

## ■電池交換時期

屋内ボタンのランプは通常「緑色」に点灯しますが、電池交換時期になりますと「赤色」に点灯し、電池の交換時期をお知らせします。点灯後は速やかに屋内ボタンの電池を交換してください。

※同梱の電池は作動確認用の為、寿命が短い場合があります。



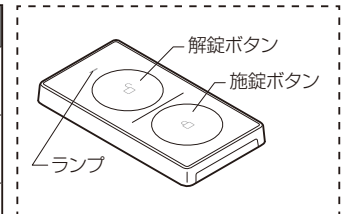
### ■電池の特性について

- ・電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など気温が低下し電池が冷えると、電池の交換時期のお知らせが出る場合があります。ただし、気温が上がるなどして、電池の温度が上がると交換時期のお知らせは出なくなることがあります。交換時期のお知らせが続く場合は、電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。
- ・極端に気温が低下した場合や指定外の電池を使用された場合は、電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり作動しなくなることがあります。
- ・同梱の電池は作動確認用のため、寿命が短い場合があります。



## ■ランプ表示

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法
緑色で点灯 (0.1 秒間) 	ボタンが押されました。	/
緑色で点灯 (1 秒間) 	電源が ON になりました。	
緑色で 5 回点滅 	電源が OFF になりました。	
緑色で 3 回点滅 	登録が成功しました。	
上記のランプ表示が 赤色で点灯・点滅	電池容量が残りわずかになりました。	
橙色で 5 分点灯 	屋内ボタンに異常があります。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。



## ■商品仕様

### ■屋内ボタン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032 1個	無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作：10回/日)	使用環境温度範囲	-10～50℃
出力周波数	2402～2480MHz	使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
電界強度	85dB $\mu$ V/m (参考)	保存環境温度範囲	-20～60℃

適用ソフトウェアver My Entranceアプリ：Ver.1.2.0以上  
玄関ドアのファームウェア：Ver.2.00以上

各バージョンの  
確認方法はこちら▶



この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。